



第6回 「教育DXお悩み相談室」



チームで進めるGIGA対応

須坂市立東中学校

北原大介 矢澤拓真

レジュメ

1 オンライン授業への対応

3' 00

3 おわりに

1' 00

2 ICT端末の活用で意識していること

4' 00

1 オンライン授業への対応

- 2020年4月・・・全国一斉臨時休業をきっかけに、オンライン授業を一部の教科で実施した。
- 2021年8月25日・・・市内小中学校合同でのオンライン授業研修会を実施。
- 2021年9月現在・・・本市では、オンライン授業は実施していない。

<オンライン授業の形態>

- ① オンデマンド型・・・Google Classroom等で動画や資料や課題を児童・生徒へ配付。
- ② Live配信型・・・YouTube Live等で決められた時間に動画を配信する。
- ③ **双方向型**・・・ZoomやGoogle Meet等のビデオ会議システムで遠隔授業を行う。

双方向型オンライン授業の様子

1 2 3



- Google Meet 使用，資料や説明動画をGoogle Classroomから配信（オンデマンドとの併用）
- 45分授業を4時間（家庭，英語，社会，理科）行った。（オンライン授業独特の疲労感あり）
- 家庭にWi-Fi環境のない生徒は，登校し，授業を受ける。

→ **基本は，対面授業と同じ**

市内小中学校合同研修会



須坂市 オンライン授業 研修会
クラスコード: goy7ghi
Meet のリンク: <https://meet.google.com/lookup/bt76nj2oab>

テーマを選択
写真をアップロード

期限間近
提出期限の近い課題はありません
すべて表示

クラスに知らせたいことを入力

車中学校代表 さんが新しい資料を投稿しました: 「オンライン授業 研修会」映像
8月26日

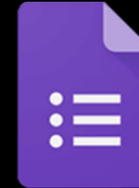
北原大介
8月25日
追記
研修会後に、須坂小の中島先生から「録画したMeetのデータ」がどこにあるのかという質問がありました。Googleドライブの「マイドライブ」の中に「Meet Recordings」というフォルダが勝手に生成されます。



- 一人では実施できないため、チームで対応（研究係、ICTに慣れた先生）
- 市内の先生方と共有できる Classroom を開設（ホワイトリスト機能：管理職の先生が主導）
- 校種ごとに、研修会場を分けて実施。
- 演習を取り入れる予定だったが、各校でのニーズもスキルレベルも異なるため、基本は講義型。

2 ICT端末の活用で意識していること

- CBT (Computer Based Testing) による単元テスト
- 「協働的な学び」での活用・・・思考場面 (Jamboradと思考ツールの併用)
表現場面 (発表資料の共同編集)
- 振り返り・・・ポートフォリオとしての蓄積 (Googleスライドやスプレッドシート等)



Classroom

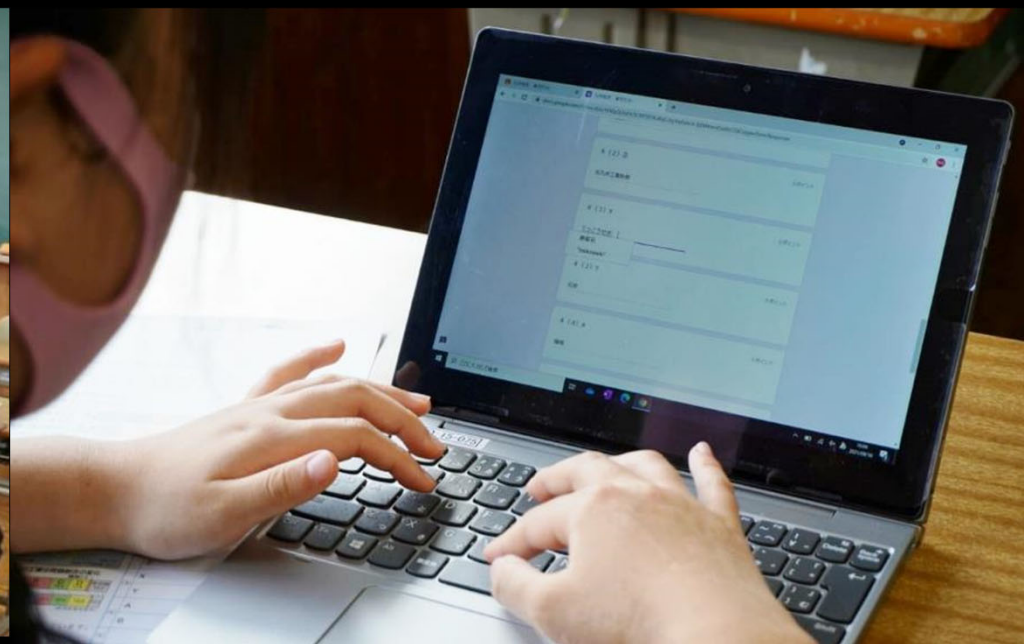
(プラットフォーム)

スライド, スプレッドシート, ドキュメント, フォーム, ジャムボード

(Google Workspaceのコアサービス)

CBT (Computer Based Testing)

1 2 3



- 個別の知識に関しては，自動採点できるため，即時的に結果をフィードバックできる。
- 単元テストの内容を先に示したり，繰り返し実施したりする工夫も試行。

<課題> 生徒にとって負担が増えないよう，単元の終末につけたい力を意識させ，授業を重ねる中で生徒が自己調整しながら習得していけるようにしたい。

協働的な学び 事例：社会

1 2 3



「思考力・判断力・表現力」を育成するために、ICT端末を積極的に活用

デメリットを解消するために

砂防ダムなどを作る

農作物の栽培の時にビニールテントを張る

どのようなメリットデメリットにつながっているか

火山灰が降り積もったシラス台地では稲作には向かないが牧畜には向いている

火山灰は肥料の代わりになる

シラス台地は水はけがよく、水持ちが悪いため土砂崩れが発生しやすい

火山灰が降り積もると交通や農作物に被害が出てしまう

地熱発電ができる

自然に優しい

観光業に生かせる

疲れをいやしたり、けがを治したりできる

温泉卵を作れる

キーワード

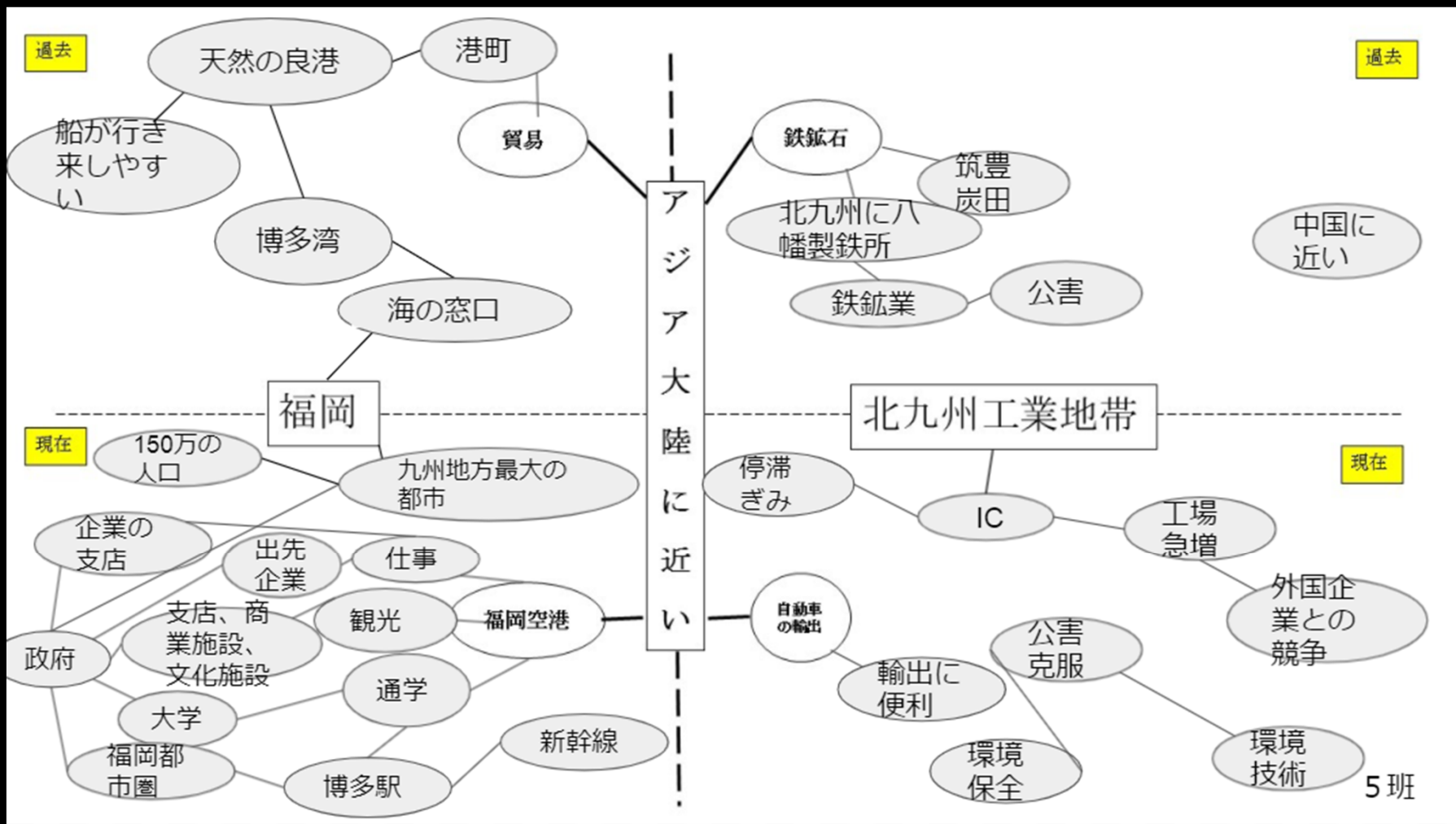
火山灰

発電

温泉

火山の多い九州地方

協働的な学び 事例：社会

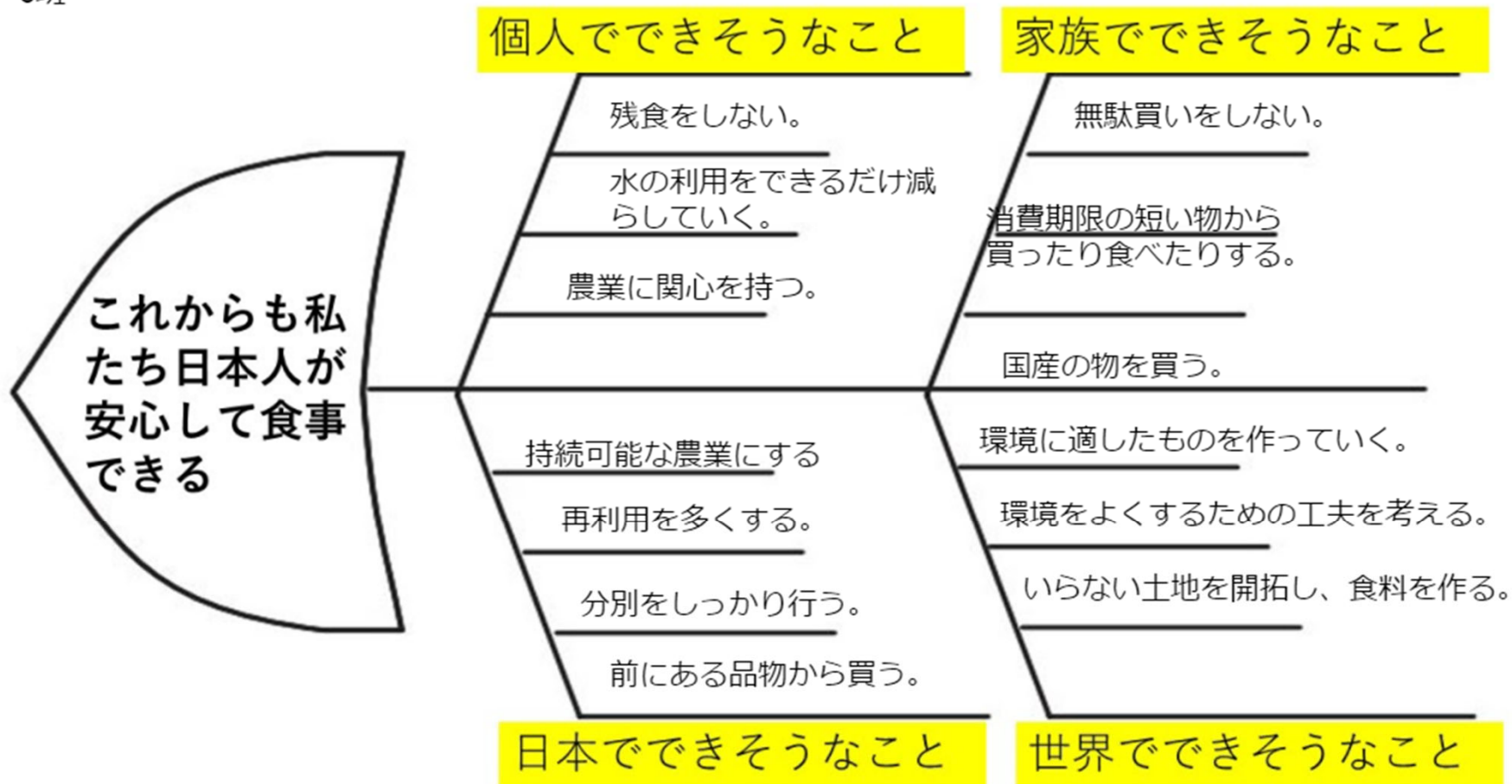


協働的な学び

事例：社会



6班



振り返り 事例：美術

1 2 3



制作（追究）の過程を，写真・動画・コメント（自己評価，他者評価）等で残すことができる。



1



2



3



2 ICT端末の活用で意識していること

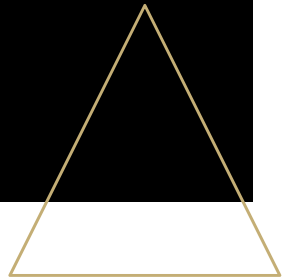


ポイント

Google Workspace のコアアプリを
一定程度、使ってみること。



自分の実践で使えそうなアイデアが生まれる。
対面で日々使っていれば、オンライン授業でも
同じようにできる。



3 おわりに

1 2 3

<チームの形>

リーダーとミドルの対話（ビジョンの共有）

縦のチーム（異学年・分散型リーダーシップ）

横のチーム（学年にICTが得意な人が1人いる）



日々の中で、「ねえ、先生、今度〇〇をやってみたいんだけど・・・」とか、「〇〇やってみたら、生徒がこんなこと書いてきたよ。」等、授業の話が職員室で多くなれば、GIGAスクールも自ずと進む。

先生方の個性，得意なスタイルに合ったICT端末の活用を共有したい。